

Uni-Voice コード

第5次瑞穂区地域福祉活動計画

みずほっとプラン

みんながずっとほっとできる

2024-2028

計画期間

令和6年度(2024年度)から
令和10年度(2028年度)



地域福祉活動計画とは

社会福祉法において、「地域住民、地域において社会福祉に関する活動を行う者、社会福祉を目的とする事業（福祉サービス）を経営する者が相互協力して策定する地域福祉の推進を目的とした民間の活動・行動計画」と定義されています。

5か年の計画として、地域の方々、ボランティアの方々、福祉関係者の方々、企業の方々とともに策定し、地域福祉を進めていくものです。

理念

あなたとわたしが 支えあうまち 瑞穂

目標

目標に向けた方向性

目標 1

誰もが役割と
生きがいを持ち続け
人や社会とつながり続ける

方向性 1 町内単位の地域福祉活動の推進

小学校区単位から町内単位の取組みへと、より身近な生活範囲で地域福祉活動を進めます

方向性 2 地域の多様な構成員の参画

福祉分野に限らず、業種や分野を超えて連携し、地域の中に「参加の場」「就労につながる場」を見出します。

方向性 3 外出できる環境づくり

おでかけ応援ボランティアの拡充と通所事業所と連携した移動サービスを進めます

目標 2

困りごとを抱えた人たちを
受けとめ支えあえる
仕組みをつくる

方向性 4 予防的福祉の推進

住民同士、住民と専門職、専門職同士の連携をつなぎ合わせ、年齢やニーズの区別なく、“丸ごと支援”できる仕組みをつくります

方向性 5 多様な相談経路の確保

集いの場（サロン、給食会等）での相談機能、つなぎ機能を向上します

目標 3

福祉のまちづくりを進める
基盤をつくる

方向性 6 ひとりの声から始める地域づくり

障がい者、外国人など社会的少数者（マイノリティ）の声を地域づくりに活かします

方向性 7 福祉感の創造

当事者性（相手の立場で自分と向き合う心）を育み、ともに生きる関係性を構築し、地域貢献できる人材を養成します

方向性 8 災害時における支援体制の整備

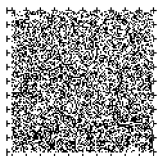
災害時要援護者の支援や被災者の多様なニーズに応えるため、専門職との連携強化に取り組みます



●計画の進行管理

区社協では、この計画の進行管理を行うとともに、計画の趣旨や理念に沿った事業展開ができるよう、計画推進委員会を開催し、適宜、必要な改善を行います。また、実施事業を進めるにあたり、特定のテーマを集中的に検討する必要がある場合にはプロジェクトチームを設置します。

計画実施年度の3年目（2026年度）には、中間まとめを行うとともに各事業の達成状況に応じて、実施事業の見直しを図ります。



瑞穂区における 計画策定の背景

名古屋市瑞穂区社会福祉協議会（以下「区社協」という。）が、この瑞穂区ではじめて「地域福祉活動計画」を策定したのは平成16年のことです。

地域社会のさまざまな福祉問題や生活課題に対し、地域住民の方々が主体となって取り組む「地域福祉活動計画」はこれで5回目、20年の成果を踏まえての計画更新となりました。

福祉は自分事

障がい者の声に
応えられる地域へ

「助けて」と
言える地域へ

計画策定で中心的な役割を担っていただいた 5人のリーダーの皆さま



委員長
近藤京子氏



副委員長
小出弘子氏



WGLリーダー
西崎久芳氏



WGLリーダー
鈴木ゆずる氏



WGLリーダー
田沢節子氏

子どもも主人公に
なれる地域へ

アジアパラ競技大会を
きっかけに飛躍する
瑞穂区へ

5人のリーダーの皆さまから、様々なアイデアや経験談、福祉への想いなどをお話いただきました。わたしたちの「できること」は分かち合い、困った時には「助けて」と言える、そんな支え、支えられる関係が当たり前にある瑞穂区になってほしいという想いが込められたみずぽっとプランです。

～「おはよう」や「ありがとう」でつながる、広がる、ふくしの輪～

実施事業

事業 1 瑞穂区地域福祉活動発表会の開催

区民や社会福祉関係者に対して、地域福祉活動を発表します

事業 2 町内対抗ポッチャ大会の開催

町内でチームを結成し、町内対抗のポッチャ大会を開催します

事業 3 地域づくりのプラットフォームの形成 ～子どもから高齢者まで丸ごと支援～

業種や職種の分野を超えて、福祉について話し合う協議の場をつくります

事業 4 おでかけ応援ボランティアの拡充

多様なニーズに応えられるよう、ボランティア活動の拡充を図ります

事業 5 移動サービスの実施～通所事業所との連携～

通所事業所と連携した移動サービスに取り組みます

事業 6 ふれあいネットワーク活動の拡充～協力事業者との連携～

コンビニ、スーパー、理美容院など協力事業者とともに、地域ぐるみの見守りを行います

事業 7 子どもを支える地域の取組みを推進

あいさつ運動など、子どもと大人のふれあいを起点に、地域全体で子どもを支えます

事業 8 相談しやすいサロンづくり

サロンの相談機能、つなぎ機能の向上を図り、早期発見・解決をします



事業 9 学区福祉計画の策定

地域特性に応じた地域福祉活動を進めるための学区福祉計画を策定します

事業 10 コミュニティソーシャルワーク(CSW)機能の強化

社協職員が個と地域の一体的支援を行うことで、ひとりの声を起点とした地域づくりを進めます

事業 11 サービスラーニングの手法を用いた福祉教育の実施

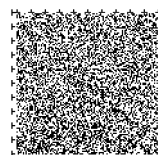
サービスラーニングを導入し、学びと実践の両面から福祉感を育みます

事業 12 災害ボランティアセンターの機能強化

災害ボランティアセンターの運営力強化と、災害時要配慮者の支援に関わる専門職との連携を図ります



計画推進のために、
地域の皆さんからの幅広いご意見をお寄せください。
また、私たちと一緒に地域福祉活動に
取り組んでいただける方の参加をお待ちしています。



～毎日の小学校登校見守りボランティア活動で地域づくり～

「おはようございます」「おはようございます」、朝の弥富小学校正門前では、ボランティアさんと登校する児童たちの間で、あいさつのキャッチボールが行われています。

弥富学区では、民生委員4名を含む10名のメンバーで「弥富小学校登校ボランティア活動」と称し、登校時の児童の見守り活動を毎日行っています。

きっかけは、スクールバスを待っていた児童を含む20名もの死傷者が発生した2019年5月28日の「川崎市登戸通り魔事件」です。このような悲惨な事件から児童を守るために、事件の翌日から地域住民が自主的に立ち上がり、現在まで見守り活動が続けられています。

見守りの場所は、校門をはじめ、登校時における学校周辺の危険な場所、交通事故のあった交差点等で、各ボランティアにより見守り活動が行われています。

さらに児童の登校時間と重なる中高生や通勤者、施設へ通う障がい者にもあいさつを交わし、地域住民がお互いに顔の見える関係づくりに努めています。

このような活動を通して、児童から「ハンカチを落としたので探して欲しい」「髪留めを側溝に落としたので取り出して欲しい」と、困ったことを頼まれ、手を差し伸べています。

発起人の杉江勇夫さんは「毎日の児童や中高生、通勤者、障がい者への見守り活動を通じて地域づくりを行っている。その活動が基盤となり、地域福祉活動につながる」と言われました。実際に地道に見守り活動を続けられているその言葉には重みを感じられます。

また、毎朝行う見守り活動は、ボランティアさんにとっても「気持ちのよい1日のスタートを切ることができる」という、心のうれしさがあるそうです。

勉強頑張っね！

今日もおはよう！

名古屋市瑞穂児童館 中高生の居場所づくりのご案内

児童館は、0歳から18歳未満の児童・生徒とその保護者が利用できますが、週1日だけ中高生のための利用時間帯があるって知っていましたか？（木曜日17:00～20:00【中学生は19:00まで、高校生は20:00まで】）

勉強や部活動などの学校生活を離れて友達とほっとする時間を過ごすために児童館を利用してみませんか？

利用方法

- 生徒手帳か身分証明書を持ってくる
- 申込書を記入
- 利用証の発行
- 毎回生徒手帳と利用証を受付で見せる

★瑞穂児童館ホームページ <http://www.mizuho-shakyo.jp/jidoukan/>

467-0011 瑞穂区萩山町1-22 TEL: 852-2229

● 地下鉄
瑞穂区役所 徒歩15分

● 市バス
「大塚町」 徒歩8分（栄20・金山14・瑞穂巡回）
「瑞穂福祉会館北」 徒歩5分（瑞穂巡回）
「市大薬学部」 徒歩8分（栄20・金山14・金山16・瑞穂巡回）

【瑞穂児童館は瑞穂区社会福祉協議会が指定管理者として運営を行っております。】



● 区民の皆さまからのほっとする情報・お写真も募集しております。

こんにちは♪ いきいき支援センターです!!

その
1

認知症カフェのご案内

認知症カフェは、認知症の人やその家族、地域住民、介護や福祉などの専門家など、地域の誰もが気軽に集い、楽しく過ごして仲間づくりや情報交換ができる場所です。

認知症カフェマップには、開催場所・日時等記載しています。ミニ講座やイベントが行われている認知症カフェもあります。ぜひ参加してみませんか？

開催日時変更や中止の場合もございます。問い合わせについては各カフェ、もしくはいきいき支援センターまでご連絡ください。



その
2

「めざせ!! 見守られ上手さん」のご紹介

外出することや、人と会う機会が減っていませんか？健康で長生きするためには人とのつながりが重要です。このチラシには、地域で見守られ上手さんになるための工夫を掲載しています。

また、いきいき支援センターの見守り支援員は、地域との関わりが少ない高齢者への訪問や電話、地域にて孤立防止のミニ講座を行っています。困りごとや心配な人がいらっしやいましたら、お気軽にご連絡ください。



令和6年度 下半期(令和6年10月~3月)「認知症の人を介護する家族支援事業」のご案内

1 認知症家族教室(10月~2月)

対象：認知症の人を介護しているご家族

認知症の人を介護しているご家族は、いろいろと不安に感じたり悩んだりされることと思います。この教室では、認知症の知識を深め、介護者同士の交流をとおして、一人で悩まず介護できるようにお手伝いいたします。

2 家族サロン

対象：認知症の人を介護しているご家族・介護経験のある方

認知症の人を介護しているご家族が、不安や悩み(たまにはグチも…)を自由に話し合える場です。介護や生活の情報を交換して、少しホッとしていただけようお手伝いいたします。

3 もの忘れ相談医による専門相談

対象：もの忘れのことで不安のある方・ご家族

もの忘れ相談医とは、認知症診断の知識・技術、ご家族からの悩み等の相談に応じるための研修を修了している、地域の専門医師のことです。その医師と認知症の症状や治療について気軽に個別相談できる場です。

東部 第2金曜日	西部 第3火曜日
10時00分～ 12時00分 ※11月は13時30分～15時30分	13時30分～ 15時30分

東部 第1水曜日	西部 第4木曜日
13時30分～ 15時30分 ※1月は第2水曜日	13時30分～ 15時30分

東部 第2木曜日	西部 第4水曜日
13時30分～ 15時00分 ※12月は第2金曜日	13時30分～ 15時00分 ※10月は第4金曜日

お問い合わせ先・申込先

●瑞穂区東部いきいき支援センター

電話 858-4008 FAX 842-8122

●瑞穂区東部いきいき支援センター分室

電話 851-0400 FAX 851-0410

担当地域 豊岡・中根・弥富・陽明・汐路小学校区

●瑞穂区西部いきいき支援センター

電話 872-1705 FAX 872-1707

担当地域 御劔・高田・堀田・穂波・井戸田・瑞穂小学校区

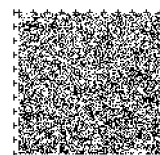
お友だち
募集中!



公式 LINE



ホームページ



令和
6年度

賛助会員様を募集しています

本会では区民の皆さまに賛助会員になっていただき、その会費を財源とした様々な事業を実施しております。皆様からお寄せいただきました賛助会費は、地域福祉活動を進めるための大きな役割を果たしており、貴重な財源として活用させていただいております。

※個人の方は、所得税に係る寄付金控除の対象となります。法人・団体の方は、法人税により、金額を「損金」に参入することができます。

各学区で集められました賛助会費については、来年度の学区の地域福祉活動の財源として9割が還元され、残りの1割は瑞穂区全体の事業や地域福祉活動のために役立てられます。



賛助会費がささえる
身近な地域の福祉活動



令和6年度 賛助会費
年会費

《個人》 10 1,000 円
《法人・団体》 10 10,000 円

令和5年度賛助会員一覧(法人・団体) ご支援いただきました皆様に深く感謝申し上げます

【順不同・敬称略】

- ・社会福祉法人 あいうえおハウス
- ・有限会社アイ・ケーサポート
- ・医療法人一樹会 浅野眼科クリニック
- ・朝日実業株式会社
- ・特定非営利活動法人 あたたかい心
- ・石原機械株式会社
- ・有限会社オオタサイクル
- ・岡崎信用金庫 瑞穂支店
- ・株式会社 KAERU かえる訪問看護ステーション
- ・クツナ商事株式会社
- ・久米クリニック
- ・ケアプランセンター陽明
- ・株式会社さくらリバース
- ・株式会社シュテルン 名古屋南
- ・昭和青色申告会

- ・医療法人浩聖会 すぎやま歯科
- ・特定非営利活動法人 すけっとファミリー
- ・学校法人 瀬木学園
- ・医療法人幸世会 セントラル堀田
- ・有限会社ダイユー
- ・タック株式会社
- ・有限会社 妻木興業
- ・TK クリニック
- ・株式会社天心 ぐるーぷほーむ花ごころ瑞穂
- ・株式会社東海商事
- ・株式会社 土建山川組
- ・特別養護老人ホーム なごやかハウス岳見
- ・医療法人幸世会 西本病院
- ・日昭電工株式会社
- ・日立ビルシステム

- ・株式会社ブーケ リぼんケアサービス
- ・株式会社 HOUSEN 訪問介護事業所 芳泉
- ・産婦人科 水野クリニック
- ・有限会社 瑞穂ビル
- ・みずほ在宅支援クリニック
- ・三井住友銀行 八事支店
- ・株式会社 安江
- ・株式会社ヤマイチテクノ名古屋支店
- ・山内殖産株式会社
- ・株式会社 山田産業
- ・横井医院
- ・ライチ産業株式会社

賛助会費の
使いみちなどは
こちら



※掲載を希望された会員様(法人・団体)のみ掲載しています。

令和5年度 賛助会費 総額 3,684,000 円 《個人》 3,189,000 円 《法人》 495,000 円

HOTなきもち

本会にご寄付いただき、ありがとうございました。

(令和6年1月~令和6年6月)
※順不同

寄付金

- おでかけし隊 様
- 福島佐千男 様
- 名古屋ヤクルト販売株式会社 様
- 匿名 1 件

※お寄せいただいた寄附金は本会地域福祉基金等として受け入れ、その果実(利息)により、各種社会福祉事業の実施等、地域福祉の推進に活用させていただきます。

寄付物品

- 粉ミルク缶
- NPO 法人つながる子育てにじいろ 様
- その他、食料品、日用品、紙おむつ等を多数の方からご寄付いただきました。

※寄附物品につきましては、本会事業に活用させていただきます。

また、未使用の毛糸のご寄付も募集しています。

ご協力をお願いいたします。

ほっとなつぷやき

編集後記



今回の特集は「第5次瑞穂区地域福祉活動計画」でした。5年間の計画になりますが、地域共生社会の実現に向けて瑞穂区の地域福祉を計画的に推進していきます。

現在、名古屋市では本市全体における地域福祉推進の方向性を示す「なごやか地域福祉2029」が策定されています。また、折しも2026年には「愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会」が開催されます。メイン会場となる瑞穂公園陸上競技場がある瑞穂区で福祉のまちづくりに向けた取り組みがレガシーとなるような機運を高めていきたいと考えています。(丹)

編集発行

社会福祉法人
名古屋市瑞穂区社会福祉協議会
〒467-0016 名古屋市瑞穂区佐渡町3丁目18番地

電話

(052)841-4063

FAX

(052)841-4080

webサイト

<http://www.mizuho-shakyo.jp>

メールアドレス

mail@mizuho-shakyo.jp



最寄駅

地下鉄 桜通線瑞穂区役所駅
下車260m(区役所東方面)

